

北海道教育委員会教育長 様

北海道浜頓別高等学校長 三井 智和 印

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|--|
| (1) 主体的に学ぶ生徒の育成を目指し、授業での基礎学力の向上とより高い次元で学ぶ力の育成を図る。
(2) 教職員及び地域・保護者間での学校課題の共有に努め、改善に向けた協働体制を構築する。
(3) 服務規律の遵守と働き方改革を推進し、信頼関係に基づく教育活動を展開する。 |
|--|

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

【教育活動に関する評価】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none">○ 授業改善や生徒理解について、更なる力量形成が必要。○ 新しい評価に向けた指標の共通認識が十分とは言えない。○ ICTの効果的な活用について教員の力量を高める必要がある。	電子黒板やタブレット端末を活用し、生徒の学力に対応した指導を充実させてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none">○ 新しい評価基準に係る研修を更に重ね、生徒の学習意欲向上に繋がる評価の在り方について理解を深めていく。	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none">○ 生徒への指導の一貫性（差異のない指導）に対する指摘がある。○ コロナ禍の落ち着きを受けて再開された各種学校行事をとおして自主性の育成が進んだ。	いじめに対する学校の指導について、今よりも保護者や地域に知ってもらう必要がある。
改善方策	<ul style="list-style-type: none">○ 規程を確認し指導の統一性を図る。○ 相互尊重の意識伸長について、更なる取組を重ねていく。	
進路指導	<ul style="list-style-type: none">○ 例年どおり高い進路決定率を維持している。○ より高い次元で選抜試験に臨める学習指導については、十分な成果をあげることができなかった。	町から支援されているスタディサプリ等を活用して、進路実現のための学力の向上を図ってほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none">○ 生徒の、家庭学習を含む自主的な「学びの習慣」を意識的に定着させ、主体的な学びの力をつけ、その上で伸長に繋がる指導を加えていく。	
健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none">○ 健康意識・安全意識の涵養については、一定の成果を残した。○ 社会情勢の変化に伴う新たな危機が想定されるので、危機管理マニュアルの精査と改訂が必要である。○定期的安全点検を行い、危険箇所の点検・修繕に努めることができた。	小中学校でも体調不良等で欠席がちな子供たちがいる。引き続き健康管理の指導を行ってほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none">○ 生徒の情報を共有し、職員全体で指導・支援できる体制づくりを進める。○ 危機管理マニュアルの見直しと改訂を進めていく。	

【学校運営に関する評価】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報発信は工夫しながら行うことができた。 ○ コロナ禍で未だ地域交流の機会が限られており、他校種との交流も十分にできなかった。 ○ PTA活動もほぼできない状態であった。 	<p>コロナ禍が治まってからの活動のあり方について、保護者の意見を聞きながら進めてほしい。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の学びの連続性を意識する上で、中学校や小学校での学びを知ることは重要である。他校種の授業参観や交流を効果的に進める。 ○ PTA活動の再開に向けた準備を進めてゆく。○総合探究学習への位置づけ等、地域と連携した教育活動の組織体制を整える。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動休養日の設定・実施は進んでいるが、業務は未だ多岐にわたり、効果的な時間外勤務の縮減が充分ではなかった。 ○ 最終退勤時間を設定し、時間を意識した業務遂行に努めた。 ○ 多忙感の影響で余裕を持った連携ができない場面があった。 	<p>制度の問題が大きい。 教員数を増やす取組も必要（根本的な問題）</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内部的な業務整理を引き続き進める。 ○ 業務の専業・分業を見直す。 	
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン研修などの取組は進んだが、対面研修への参加は、地理的な問題もあり難しかった。 ○ 個々の研修成果を共有するまで進まなかった。 	<p>時間外勤務が改善について、引き続き教員の負担軽減のための業務の見直しを進めてほしい。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外部研修の成果を交流する校内研修の実施や、研修資料の職員回覧などを実施して、個人の研修内容を共有して、全体の資質向上への材料とする。 	
公表方法	<p>学校ホームページ・保護者配付文書において公表</p>	